

令和2年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和高等学校）

（学校番号 s 4 7）

目指す学校像	中高一貫校として特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもって輝き続ける生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 中高一貫校の特性を活かした質の高い学びを展開する。 2 「文武両道」の理念に立ち、バランスの取れた教育活動を進めるとともに、第1志望の進路を実現する。 3 国際理解教育の充実と開かれた学校づくりの推進を図る。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)	
年 度	目 標	年 度 評 価	評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
1	中高一貫校の特性を活かした多様な教育活動を進め、内進生と高入生が切磋琢磨し進学実績は向上している。さらに中高一貫校としての特色化を進め、他の一貫校との差別化を図る必要がある。新学習指導要領や高大接続改革等を踏まえ、本校に相応しい新教育課程を完成させる。また、社会の状況を適切に判断し、多様な学習の在り方を検討し、質の高い学びを充実させる必要がある。	・中高一貫校の特性を活かした指導の充実 ・中高連携した授業の充実 ・本校に相応しい新教育課程の完成 ・新学習指導要領や高大接続改革、社会の状況を踏まえた多様な学習の在り方を検討し、質の高い学びを充実させる必要がある。	①中高一貫校の特色を明確にし、進学校としての新教育課程を構築する。 ②A L等による授業改善や大学入試改革に対応した学習指導を実施する。 ③学習課題の研究、ICT活用による在宅学習を支援する。	①評価アンケートでの肯定的回答数。 ②中高連携授業を増やし、充実が図られたか。 ③進学校としての新教育課程の完成。 ④評価アンケート「授業の満足度」等の肯定的回答数。 ⑤ICT等を活用した学習支援が図られたか。	①コロナ禍で行事縮小の中で生徒の中高連携に対する肯定は67.7%に留まった。 ②高校教員の中学校での授業数は昨年度比9時間増。中学教員の高校授業参加2時間など相互交流を充実させた。 ③地歴公民科分野で学校設定科目（倫理政経）の設置に向け研究した。 ④ALは初任研、各教員が実践した。授業評価は、やる気を引き出す、分かり易さ、実力がつく、で高評価。 ⑤コロナ禍ではe-pa、Classiで計画的な課題配信、面談等でのICTの活用、タブレット導入の準備ができた。	A ○中高教員の相互乗入のみならず、教科の特性に沿って英語科では中高教員で6年間の教育内容を吟味し、刷新すべきところ刷新した。今後も一貫校の特徴を活かしたい。 ○進学校にふさわしい新教育課程ができた。今後は、新学習指導要領を踏まえ評価等を含め研究を続けたい。 ○コロナ禍の社会情勢を判断しながら、充実した学校生活（内進生・高入生が学校生活では青春を共にし、進路実現では切磋琢磨する）質の高い教育活動を引き続き追求したい。
2	第1志望への進学希望を諦めさせない高い志の育成は定着してきている。楽しい「スーパー進学校」をスローガンに掲げ、学業、部活動、学校行事とバランスの取れた教育活動を展開し成果を上げている。一方、社会の状況を適切に判断し、不安や悩みを抱えた生徒への対応、生徒や保護者の期待に応える計画的で戦略的な学習指導、進路指導を展開する必要がある。また、働き方改革を踏まえ、伝統校としての良さを考慮した行事の見直しなど、より充実した学校生活となるよう改善を図りながら、「文武両道」を実現できる「スーパー進学校」を目指す。	・計画的で戦略的な学習指導、進路指導の実施 ・生徒、保護者と連携した、個に応じた指導の充実 ・働き方改革と部活動や学校行事の奨励と積極的支援 ・市立浦和に相応しい生徒指導、生徒相談の充実	①進路指導部と学年が連携し、計画的で戦略的な学習指導、進路指導を進め、第1志望を諦めさせない指導を進める。 ②面談の充実を図り、生徒の意欲を引き出し、生徒や進路関連の的確な情報を提供する。 ③「部活動に係る活動方針」を踏まえ、積極的な活動支援を行う。 ④挨拶の励行、登下校の安全とマナー、いじめ防止、SNSの安全な利用等の社会性の向上を図る。 ⑤生徒相談の日程調整等充実を図る。	①共通テスト 900 点満点受験者数。 ②第1志望の進路実現に向け、国公立大学・難関大学・医学部等の合格者数。 ③「部活動に係る活動方針」に沿った部活動の実施状況、行事の見直し検討の進捗。 ④評価アンケート「生徒規律に関する項目」の肯定的回答数。 ⑤不安のある生徒の学校生活を支援できたか。	①共通テストに変わったが生徒は落ち着いて受験できた。900点満点受験者は182名で51%。1・2年生対象に医学部入試説明会を開き19名の参加があった。 ②今年度面談の時期を早めた。共通テスト後に大学によっては変更点があり、最後まで面談で生徒を支えた。 ③コロナ禍で市の方針に則って実施できた。一方、学校行事の見直しも進め、体育祭を6月実施に変更した。 ⑤規律に関する肯定回答94.3%、交通安全への意識も99.8%と肯定的回答数が多く、学校の生徒指導が機能した。 ⑥柔軟にSCの来校日を組み、7月8月の来校日の充実を図った。不安のある生徒をSCに繋ぐことができた。	A ○引き続き第一希望をあきらめさせない指導の工夫を続けたい。面談については担任による定期的な面談を進めていきたい。 ○部活動を大切にしながらも部活動に係る方針に則り、引き続き文武両道の進学校を目指したい。働き方改革については来年度もワークライフバランスを進めていきたい。 ○評価アンケートでは昨年に引き続き各項目で肯定的な回答が多かった。コロナ禍で生徒の帰属意識、学校生活の充実を図るため、体育祭の実施、1・2年生の秋遠足など行った。来年度もコロナ禍の状況を見極めながら、生徒が充実感、肯定感を高く持てる教育活動を目指したい。
3	国際理解教育は本校の教育の柱として充実させ、特に語学への動機付けで成果が見られる。学校関係者の評価からは一層積極的な推進が望まれている。安心・安全で、開かれた学校づくりについては、生徒・保護者との連絡メール（e-pa）とHPを活用して本校からの情報発信、教育活動の発信をしている。土曜公開授業については来校者が増え、保護者や受験生が本校を知る機会となっている。学校説明会、郊外での学校説明、その地域との連携の機会を活用し、本校の教育活動を一層発信していく必要がある。	・安全な海外派遣の企画等、国際理解教育の更なる推進と、さいたま市の事業等の積極的な活用 ・積極的な学校情報の発信と地域連携の充実 ・生徒募集の充実	①安全な計画に基づいた姉妹校交流、海外修学旅行、留学等を充実させる。 ②さいたま市の事業、部活動海外派遣等の活用による国際交流機会の提供。 ③e-pa、HP等で学校の情報を積極的に発信する。 ④地域連携活動を推進する。 ⑤土曜公開授業や学校説明会の内容を充実させる。 ⑥校外学校説明会、中学校訪問、中学校生徒・PTA見学を積極的に受け入れる。	①国際交流事業への参加生徒の満足度と事故のない実施。 ②市事業等への参加生徒数。 ③情報発信数と閲覧件数。 ④地域と連携した取組数。 ⑤土曜公開授業、学校説明会の参加者数。 ⑥生徒募集活動の実施数。	①②コロナ禍で海外事業は全て中止となった。しかし、海外留学生とOn Lineでプレゼンやディカッションをしたり、Teamsで模擬国連に参加した生徒もいた。また、MITやトビタテ留学プログラムの説明会を開き将来に向けた機会を提供できた。 ③HPでの情報発信の一部をe-paに切り替え、生徒・保護者へ素早く情報発信ができた。 ④昨年の学校運営協議会準備校を経て、今年度コミュニティスクールとなった。地域と学校の関係を密にしている。 ⑤コロナ禍の影響により土曜授業の公開はできなかった。 ⑥学校説明会は延べ22回実施、1200組以上の参加者があり、本校の魅力や取組を発信した。	B ○今年度から国際交流部を分掌として立ち上げ、連携組織として国際理解教育・SDGs推進委員会を置き充実を図った。来年度もグローバルリーダーの育成を目指し、SDGsの目標との共有を図りたい。 ○HPのアクセス数は昨年並みの約33万万件。HPは本校の魅力や教育活動を広く伝える手段であり、来年度は部活動など充実を図りたい。 ○学校運営協議会はもとより、コロナ禍の状況を見極めながら、PTA活動、地域の祭り等連携を図りたい。 ○土曜授業の公開、学校説明会等もコロナ禍の状況を見極め、受験生やその保護者のニーズに答えたい。

学 校 関 係 者 評 価
実 施 日 令 和 3 年 2 月 2 4 日
学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
・中高一貫校としての特色を活かし教育活動を実施し地域からも高い評価が得られている。行事縮小となり残念な1年であったが、生徒たちからそれにかわる何かが出てくるような学校環境であってほしい。また内進生と高入生の切磋琢磨は今まで以上に期待する。 ・生徒の満足度で「やる気を引き出す」が高評価であることは、先生方が多様な学習の在り方を常に研究し本校に相応しい教育課程を作り実践している成果と考える。
・第1志望を諦めさせない指導と面談の充実には生徒において心強い対応である。また、規律に関する肯定回答が高いことは日頃の指導、教育が行き届いている結果である。 ・進路指導について生徒の特性や希望を生かした取組を実施し個々の自己実現に寄与している。 ・部活動も大変盛んであると感じている。文武両道がすべての子供に達成できるよう指導を願う。 ・働き方改革はPTAにもあてはまるので、今まで以上に学校との連携をしていけたらと考える。 ・今後も生徒が不測の事態においても心のバランスを保てるよう配慮を続けてほしい。
・グローバルな視野を広げ世界で活躍できる人事育成に向けた取組が実践されている。今後も国際交流活動の在り方を工夫し、楽しみにしていた生徒の期待に応えてほしい。 ・国際交流の形態は今後明らかに新しい時代を迎える。その為の土台作りができたのではないかと。 ・グローバル社会において有事の際に何ができるかを考え取り組める力を養う教育を期待する。 ・学校と保護者のメールシステム(e-pa)での配信はHPより確実に情報が届くので、より良い活用を期待する。

